

Little eArth Corporation

株式会社ラック

第14期 中間報告書 2020.4.1～2020.9.30

証券コード：3857

—ネットワーク社会の進展により、
時間的にも空間的にも地球は小さくなっていく—

事業紹介

当社は、他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと、独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供しており、高い競争力を有する独自のサービスや大手企業を中心とした確固たる顧客基盤を有していることを強みとしています。

お客様の事業課題を解決する最適なソリューションの提供に向け、製販一体で対応する事業部制とし、進化を続けています。セキュリティを切り口に両サービスを融合し、お客様のITによる変革「デジタルトランスフォーメーション」の実現に貢献します。

お客様



事業課題のIT提案

SSS

セキュリティソリューションサービス

他社に先駆けサイバーセキュリティ
サービスを展開

セキュリティエンジニアによる
専門的なサービスを提供

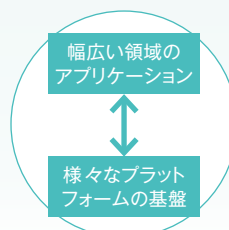


SIS

システムインテグレーションサービス

金融機関や官公庁向けシステム開発で培った
技術力で幅広い領域のシステム開発

基盤からアプリケーションの開発まで
一貫したSIサービスを提供



両事業の営業・エンジニアが支援し合い成長

「なくてはならない」存在を目指し さらなる成長への挑戦を続けます

テレワーク環境を基盤に 重点施策を着実に推進

緊急事態宣言が解除され数ヵ月が経ちました。Go To キャンペーン事業も始まり、人々の生活や企業の活動は徐々に活気を取り戻しつつありますが、社会的に新型コロナウイルスへの明確な対抗方法が定まらないなか、依然として予断を許さない状況が続いています。

当社は前期に進めた社内IT変革と教育・訓練によって、大きな問題もなく在宅勤務への移行が完了し、事業を継続することができています。また、構築したテレワーク基盤を活用し、日常の業務推進に関わる意思疎通や会議等だけではなく、勉強会や部署間の情報や意識の共有を図る様々なイベントをオンラインで開催するなど、テレワークの弊害を補う策として様々なコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。このような策を打ちつつ、新型コロナウイルスによる影響を受けながらも、期初に掲げた両事業の重点施策を着実に進めることができました。

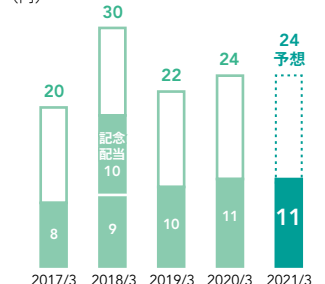
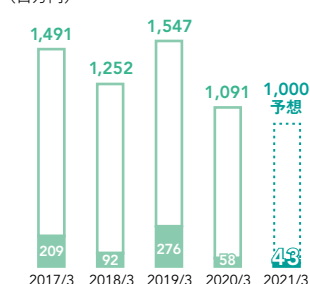
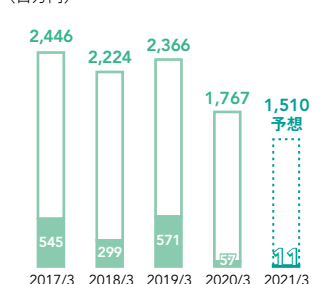
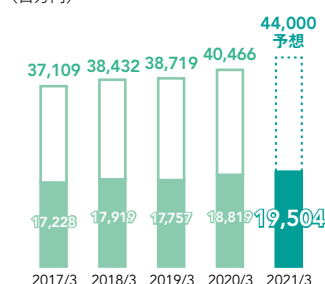
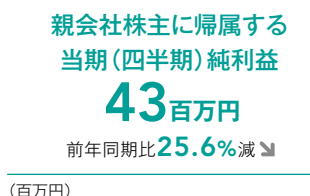
2021年3月期の第2四半期累計期間の業績については、特に第1四半期に新型コロナウイルスの影響を大きく受けたものの、売上高はセキュリティ事業、SI事業ともに伸長し増収となりました。一方、利益面では、今期のセキュリティ事業のさらなる拡大を期待して進めた体制強化と、業務プロセス統一化のための社内ITシステムの刷新等の投資に加え、在宅勤務など急激な労働環境の

業績

業績ハイライト

■ 第2四半期連結累計期間
□ 通期

*1 コスト削減に向けた子会社の平河町・東陽町オフィスへの拠点集約費用として特別損失225百万円を計上する見込みです。
*2 株式会社日本貿易保険との契約の取り扱いについては交渉継続中のため業績予想には含んでいません。



変化や出費に晒される社員への特別支援一時金の支給などにより減益となりました。ただし第2四半期(7月~9月)では、セキュリティ事業、SI事業ともに前年同期から増収増益となっています。

足元の状況を踏まえ通期業績予想を修正

2020年5月12日に公表した通期業績予想は、その時点では新型コロナウイルスによる影響がどの程度生じるか判断できなかったため、影響を考慮しない予想値として開示しました。

その後、セキュリティ事業において需要拡大を期待していた東京オリンピック・パラリンピックの延期による影響が確実となり、また緊急事態宣言の発令によりお客様の企業活動の停滞が続きました。解除後も、企業は警戒モードのなかにあり、今後の爆発的な需要拡大を見通せる状況までには至っておりません。このような状況から、両事業とも前期から売上は伸長しているものの、特にセキュリティ事業が体制強化に見合った売上拡大が確実とは言えないこと、また継続して6割を超えている当社の在宅勤務状況を踏まえ、来期以降の費用削減のために子会社の拠点集約による特別損失の計上を決断したこともあり、通期業績予想を下方修正することとしました。

期初予想と比べ、売上高は5.6%減の440億円、営業利益は29.8%減の15億1,000万円、経常利益は26.4%減の16億2,000万円、親会社株主に帰属する当期純利益は36.7%減の10億円

の予想としています。利益は前期と比べても下回る見通しであり、大変申し訳ございません。

一方、配当については、中間配当は予定通り1株当たり11円としました。年間配当も業績を下方修正するものの、現状では当初予想の24円から変更はありません。

「なくてはならない」存在を目指して

「人類の歴史はウイルスとの共生の歴史でもある」との言葉をまさに実感させる「withコロナ」の時代において、社会の「デジタル化」は様々な意味で必須です。企業は、まずはテレワークを含めたデジタル化を優先せざるを得ない状況にあります。そのデジタルを安全・安心に利用するためにサイバーセキュリティは不可欠であり、市場をリードする当社が活躍する場はさらに広がっていくものと期待しています。

当社は、デジタル化の推進において、社会にとって「なくてはならない」存在となることを目指し、SIとセキュリティの両輪で、さらなる成長に向けた挑戦を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、中長期的な視点でご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

西本逸郎

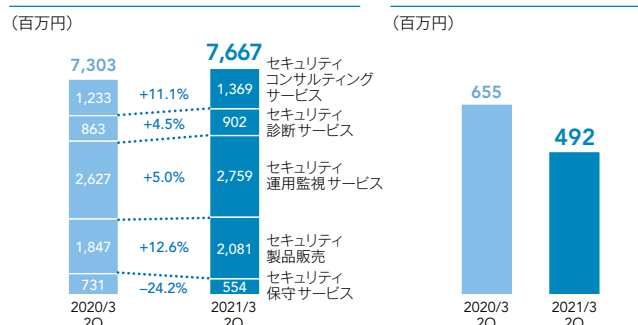
セグメント別概況

SSS 事業

製品販売の拡大やサービス売上の伸長により増収
人員増など体制強化の投資等により減益

売上高
76億67百万円
前年同期比**5.0%増**▲

セグメント利益
4億92百万円
前年同期比**24.8%減**▼

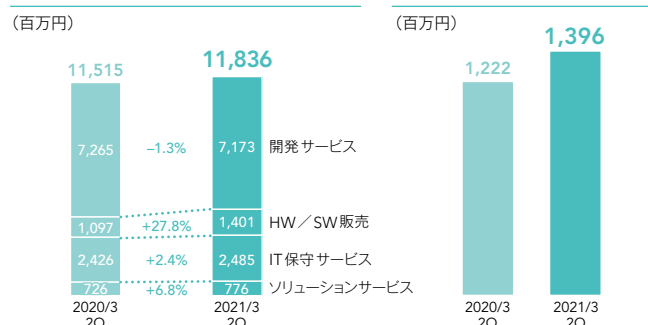


SIS 事業

HW/SW(ハードウェア・ソフトウェア)販売の拡大により増収
開発サービスの収益性改善等により増益

売上高
118億36百万円
前年同期比**2.8%増**▲

セグメント利益
13億96百万円
前年同期比**14.2%増**▲



>>> 啓発活動の推進

サイバーセキュリティに関する注意喚起等の啓発情報を発信

ラックはサイバーセキュリティ分野におけるリーディングカンパニーとして、サイバー攻撃に関する注意喚起情報を適宜発信するとともに、自社 サービスを提供するなかで得られた知見をまとめ、定期的にレポートを発行しています。

■ セキュリティレポートの発信

2020年4月にIPA（独立行政法人 情報処理推進機構）が公開した「情報セキュリティ10大脅威 2020」では、特定の組織を狙ったサイバー攻撃が上位を占めています。当社が発行したサイバー救急センターレポートやセキュリティ診断レポートなどでも注意を促すとともに対策の仕方を紹介しています。

IPA公表の「情報セキュリティ10大脅威 2020」上位5位

順位	国内の組織にとっての脅威 上位5位 (2020)	2019
1位	標的型攻撃による機密情報の窃取	1位
2位	内部不正による情報漏えい	5位
3位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	2位
4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4位
5位	ランサムウェアによる被害	3位

■ 注意喚起情報の発信

「Emotet（エモテット）」と呼ばれるウイルスは、取引先等とやり取りしたメールを窃取し、「ビジネスメール詐欺」を引き起こす危険性があります。

2020年9月にセキュリティ監視センター「JSOC®」で検知数が急増したことを受け、注意喚起情報を発信しました。日本経済新聞のほか各種メディアに取り上げられ、注意を促すことができました。

上期発行のレポート



JSOC INSIGHT vol.26



セキュリティ診断レポート 2020 春



サイバー救急センターレポート 第9号



CYBER GRID JOURNAL Vol.10



コロナ状況下に役立つIT&セキュリティの緊急レポートを発信

新型コロナウイルスが感染拡大するなか、企業ではテレワークやリモートワークなどの対応を模索している状況が続いています。企業経営層やITシステム責任者に役立てていただけるよう、IT&セキュリティ分野の知見を活かして、どのように対処すべきか解説した緊急レポートをウェブサイト上に公開しました。



「withコロナ」経営者が今やるべきこと



テレワーク導入便覧

>>> 新サービスの提供

テレワーク下での事故に備える机上演習 サービスを提供

テレワーク下で情報漏えいなどの情報セキュリティ事故が起きた際、企業のセキュリティ担当者は在宅勤務をしながら事故対応する必要性に迫られています。

これを受け、当社はウェブ会議システム上で約20名の参加者が同時に対応方法を学ぶことのできる「情報セキュリティ事故対応1日コース 机上演習編【リモートLive版】」の提供を始めました。

これまで集合研修により行われていた机上演習をリモートで受けることができ、さらにテレワーク環境ならではの事故

対応ノウハウ、コミュニケーションの特徴や難しさも学ぶことができます。



クラウド活用のサイバー事故を防ぐ診断 サービスを提供

企業システムのクラウド環境への移行が進むなか、複数のクラウドを管理しきれず、セキュリティ設定ミスや見逃しによるサイバー事故が増加しています。

これに対して当社は、クラウドのセキュリティ設定を診断し、安全性評価や対処すべき問題を洗い出す「クラウドセ

キュリティ設定診断 サービス」の提供を開始しました。自動でクラウドの設定ミスを検知し、脅威を可視化するマカフィー株式会社のセキュリティ製品「McAfee MVISION Cloud」の導入支援サービスもあわせて提供するなど、クラウド環境の安全・安心に貢献します。



>>> 社員への取り組み

急激な環境変化のなかで働く社員を支援

新型コロナウイルス対策として、2020年3月27日から全社員を対象に在宅勤務によるテレワークを実施し、緊急事態宣言解除後も同体制を最大限に継続・推進しています。

当社は、緊急事態宣言という急激な労働環境の変化に伴う社員の負担軽減のため、福利厚生の一環として全社員へ「特別支援一時金」を支給しました。また、コロナ状況下において出社対応を余儀なくされる社員や契約企業先で勤務する社員もあり、新たな勤務様式にあわせた対応として、毎月の支援金を支給することとしています。今後とも当社は、社員の労働環境の改善に取り組んでいきます。

特別支援一時金の支給

支給金額	一律30,000円
支給日	2020年5月20日

各種支援金の設置

支給金額	月額4,000円	
対象	在宅勤務支援金	週3日以上在宅勤務者で所定の条件を満たした場合
	客先常駐支援金	主としてお客様先に常駐勤務する場合
	出社対応支援金	週3日以上出社対応業務に従事しており、在宅勤務をすることができない場合
支給期間	2020年8月1日～2021年3月31日	

会社情報

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社ラック
 英文名 LAC Co., Ltd.
 所在地 〒102-0093
 東京都千代田区平河町2丁目16番1号
 平河町森タワー
 設立 2007年10月1日
 資本金 10億円
 従業員数 連結：2,273名
 (SSS事業：922名、SIS事業：1,171名、管理部門：180名)
 個別：1,613名
 ※連結・個別ともに契約社員含む

役員 (2020年6月19日現在)

取締役会長 高梨 輝彦
 代表取締役社長 西本 逸郎
 取締役 菅 雅道 船引 裕司 土屋 奈生
 社外取締役 西川 徹矢 村井 純 渡辺 樹一
 中谷 昇
 常勤監査役 伊藤 信博
 社外監査役 石原 康人 蜂屋 浩一

株式情報 (2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 26,683,120株
 株主数 15,376名

大株主

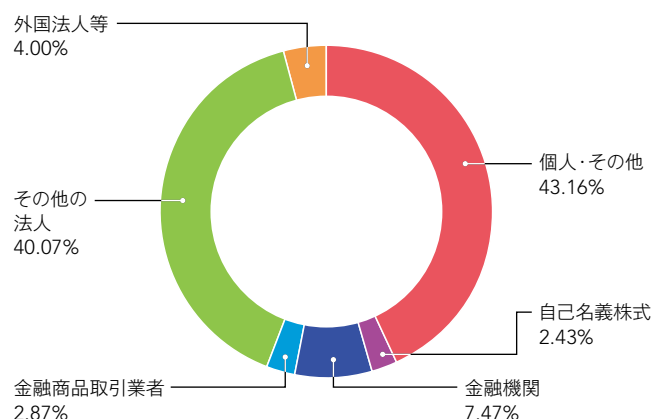
	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
有限会社 コスモス	6,889,800	25.82
KDDI 株式会社	1,414,200	5.29
株式会社 SHIFT	1,334,100	4.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,182,000	4.42
ラック従業員持株会	911,610	3.41
三柴 照和	690,000	2.58
株式会社 ベネッセホールディングス	500,000	1.87
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	475,600	1.78
上田八木短資株式会社	274,000	1.02
高梨 輝彦	265,900	0.99

※自己株式は647,383株ですが、議決権がないため上位10名までの大株主からは除外しております。
 ※有限会社コスモスは、KDDI株式会社の100%子会社であります。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人特別口座の
 口座管理機関 三菱UFJ 信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町一丁目1番
 Tel: 0120-232-711 (通話料無料)
 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
 上場市場 電子公告により行う。
 公告の方法 公告掲載 URL <https://www.lac.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、
 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に公告いたします。)

所有者別株式分布状況



株式事務手続き

1. 当社株式に関する以下のお手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ 信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

住所変更	氏名変更	相続
配当金振込指定	株式異動状況等 証明発行	単元未満の 買増・買取

など

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ 信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ 信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人連絡先へお問合せください。



「IRメールマガジン」を配信中

投資家の皆様へ当社の情報をタイムリーにお知らせするため、決算やプレスリリースをはじめ、サイバーセキュリティに関するレポートや注意喚起などの情報をご提供する「IRメールマガジン」を配信しています。

配信ご希望の方は、当社ウェブサイト「IR情報」の「IRメールマガジン」からご登録ください。

IRメールマガジン



<https://www.lac.co.jp/ir/mailmagazine.html>
 (左記 QR コードからも登録可能です。)

お問合せ

経営企画部 企画・IR室

Tel: 03-6757-0107 / E-mail: ir@lac.co.jp

当社ホームページでは、IR情報のほか、自社メディア「LAC WATCH」において、最新のセキュリティ情報やラックの取り組みを発信しています。是非ご覧ください。 <https://www.lac.co.jp/>

